

3 市民広報の状況

1 令和7年9月11日の大雨に関する市民への広報の概要

(1) 9月11日の広報について

【概要】

13時53分の気象警報発表直後から、市公式HP、ポータルサイト、防災アプリ、メールニュースでの情報発信のほか、危機管理本部X等を活用して計146件の情報発信を行いました。

【実施状況】

9月11日のポータルサイトの累計ページビュー数は56,191回を数え、約1,000～1,500回を推移している平常時の数値とは比較にならないほどのページビュー数となり、記録的短時間大雨情報発表など、当日の気象急変に関連する情報に対するアクセスが増えたことが想定されます。

また、11日午後4時頃に本市の雨量がピークを迎え、帰宅時間帯にJR線等の運転見合せが発生し、危機管理本部Xによる交通情報の発信(4件)について、**計15万件**を超えるインプレッション(コンテンツ、投稿内容等が表示された件数)となりました。

(2) 9月12日以降の広報について

【概要】

9月12日以降は、罹災証明書など各種支援に関する申請や区役所臨時窓口開設のお知らせなど、支援に関する情報について、9月11日で行った広報と同様に、市公式HPをはじめ、危機管理本部X等で発信しました。

【実施状況】

災害支援情報をまとめ、その情報にアクセスしやすいよう、市公式HPのTOPページ上の「お知らせ」にバナーを設置し、「令和7年9月11日の大雨で被害にあわれた皆さまへ」として9月12日から公開したところ、10月10日までの28日間の累計ページビュー数は21,792回を数え、関心を寄せていただいたことが想定されます。

また、罹災証明書の申請方法のほか、連休期間の中原区役所、高津区役所、宮前区役所の臨時窓口等の情報、災害ごみや浸水対策などについて危機管理本部Xによる情報発信を行い、「土のう」に関する投稿には**16万件**、「臨時窓口」の投稿には**12万件**と、9月11日から19日までの投稿内容について**計100万件**を超えるインプレッションとなりました。

※市公式HP、川崎市防災ポータルサイトに関する数値(累計ページビュー数)について

利用状況を把握するため、Google社が提供するアクセス解析ツール「Googleアナリティクス(GA4)」を活用しており、本資料に記載している各Webサイトに関する数値はこのツールによる集計値となります。

3 市民広報の状況

2 令和7年9月11日の大雨に関する市民広報のデータ

情報発信媒体		9月11日		9月12日（災害支援）～10月19日		参考
		回数	概要 []は発信時刻	回数	概要 ()は発信日	
市公式HP		3	「大雨警報などに関する情報は川崎市防災ポータルサイトでご確認ください」 ※TOPページ「お知らせ」にバナーを設置 [16:30] 大雨に関する本市の対応について（第1報） [23:00]	6	令和7年9月11日の大雨で被害にあわれた皆さまへ(9/12～) ※各種災害支援メニューを一覧化して掲載 ※TOPページ「お知らせ」にバナーを設置(～10/10)	※「9月11日の大雨被害にあわれた皆さまへ」(9/12～10/10累計ページビュー数) 21,792回
防災ポータルサイト/防災アプリ		各11	大雨警報(浸水害・土砂災害)、洪水警報、土砂災害警戒情報等の緊急情報[13:53～17:21、21:37～翌01:02] 【お知らせ】市内の大雨についての注意喚起[14:50]	各2	令和7年9月11日の大雨被害にあわれた皆さまへ(9/15～)	9/11ポータルサイトページビュー数 56,191回 (市HPからの遷移は3,040件) (1日平均ビュー数1,928回/R6年度) 9/11時点アプリ累積ダウンロード数 52,390回
メールニュースかわさき(防災気象情報)		88	雨量(52件)、気象警報(9件)、記録的短時間大雨(4件)、水位(13件)、停電(発生・復旧)(4件)、土砂災害警戒(2件)、防災行政無線(1件)、竜巻注意(3件) ※雨量情報は9/12 9:30最終報まで	2	川崎市にお住まいで9月11日の大雨被害にあわれた皆さまへ(9/15～)	9/11時点登録者数 40,308件
同報系防災行政無線		1	土砂災害警戒情報[15:51]	—	—	—
危機管理本部 X	自動投稿	23	気象警報・注意報(9件)、記録的短時間大雨(4件)、停電(発生・復旧)(4件)、土砂災害警戒(2件)、竜巻注意(3件)、防災無線(土砂災害警戒)(1件)	—	—	インプレッション数(9/11～10/19計) 477,223件
	職員投稿	8	交通情報(4件) 気象の状況など(3件)、防災気象情報・河川カメラ(1件)	34	土のう(6件)、区役所窓口(12件)、住宅相談(窓口)(4件)、エスカレーター停止(3件)、災害支援(り災証明書等)(2件)、災害ごみ(3件)、その他啓発(4件)	インプレッション数(9/11～10/19計) 533,728件 ※交通情報：152,799件 土のう：164,494件 区役所窓口：122,697件
市公式LINE		—	—	1	9月11日の大雨で被害にあわれた皆さまへ(9/17)	9/17時点・登録者(友達)数 61,163件
議会提供/報道発表		1	大雨に関する本市の対応について（第1報） [23:30]	1	9月11日の大雨に関する被害への対応状況等について(9/16)	—

災害情報の市民への提供については、市公式HPをはじめとした様々な広報媒体の特性を理解し、引き続き、的確な情報発信に努めていく必要があります。

4 公共建築物における浸水対策に関する調査

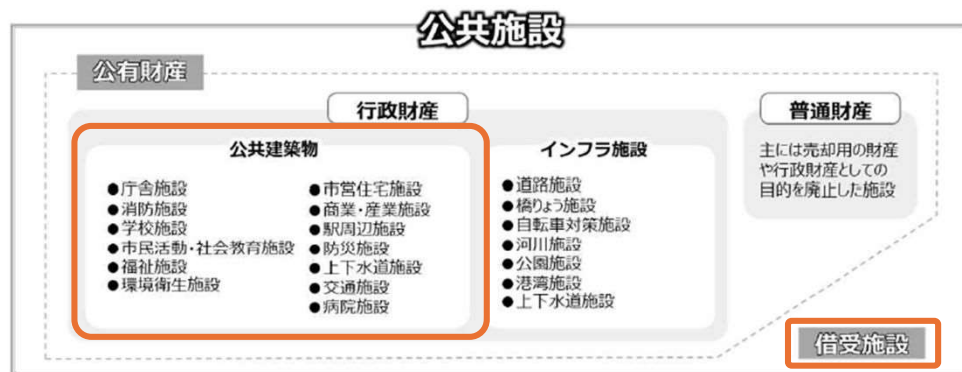
1 調査目的

令和7年9月11日の大雨において、本市では、中原区における時間降雨量が、131.5ミリと過去最大の猛烈な降雨であったほか、時間最大雨量と累計の総雨量が大きく変わらない量であったなど、極めて短時間で、局地的な大雨がもたらされ、区役所・駅等のエレベーター・エスカレーターの停止、市立学校の雨漏り・浸水などが確認されました。

市内で浸水などの被害が発生し、その影響が公共施設まで及んだ場合には、市民の安全や市民生活及び市民サービスに影響を来すことから、各施設における雨水等の浸水対策について、現状、今後の改善策、指定管理者制度導入施設における浸水時の役割分担などについて把握することを目的として、危機管理本部が全局区を対象に調査を実施しました。

2 調査対象

公共施設白書（令和5年度版）に掲載される公共建築物等 **1,066施設**
（今回のアンケート調査により調査時点で解体等となった施設は所管局で更新）



3 調査概要

(1) 調査方法

全局区へのアンケート方式

(2) 調査項目

次の設問により実施

- 当該施設は、市民（児童・生徒、施設利用者含む）が日常的に訪れる施設か。
- 周辺の地理情報等を把握していく必要がありますが、どのような資料等を用いて把握しているか。
- 浸水被害が及んだ場合、どの程度の被害を想定しているか。
- 過去5年以内に浸水等の被害があったか。
- 浸水対策を実行するかを検討する際、参考としている情報源は何か。
- 当該施設の浸水対策を計画又は実施しているか。
- 指定管理者等との施設管理に関する役割分担は明確になっているか。
- エレベーター、エスカレーターの浸水に備えた運転停止や運転方法などについて相談・確認等を行っているか。
- 浸水対策を改善するために、課題となっていることはあるか。
また、その他に課題があるか。
- （前問において課題となっていることがある場合に回答）
今後の改善策は計画しているか。

※実際のアンケート項目は最後のページに添付

4 公共建築物における浸水対策に関する調査

4 各局区の対象施設及び対応状況等

単位:件

所属名	対象施設数 (うち市民利用施設数)		浸水被害を受けると想定している施設数 (うち市民利用施設数)										
			浸水被害を受けると想定している施設数 (うち市民利用施設数)		ソフト対策を実施している施設数 (うち市民利用施設数)		ハード対策を実施している施設数 (うち市民利用施設数)		ソフト・ハード対策が未対策の施設 (うち市民利用施設数)		指定管理者制度、補助金等で管理を民間に委ねている施設	指定管理者制度等での役割分担が明確になっている施設	指定管理者制度等での役割分担が明確になっていない施設
総務企画局	7	(4)	5	(3)	4	(3)	4	(3)	1	(0)	0	0	0
財政局	2	(2)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	0	0
市民文化局	23	(22)	15	(15)	13	(13)	11	(11)	1	(1)	11	3	8
経済労働局	18	(10)	14	(8)	8	(6)	7	(4)	3	(1)	7	6	1
環境局	31	(21)	10	(6)	9	(5)	3	(1)	1	(1)	1	0	1
健康福祉局	135	(124)	85	(81)	70	(70)	24	(24)	10	(6)	71	49	22
こども未来局	236	(227)	177	(173)	175	(173)	23	(22)	2	(0)	151	151	0
まちづくり局	120	(117)	118	(116)	117	(115)	5	(4)	0	(0)	0	0	0
建設緑政局	25	(17)	15	(12)	11	(11)	9	(9)	4	(1)	8	6	2
港湾局	33	(14)	21	(9)	12	(9)	4	(1)	9	(0)	2	1	1
臨海部国際戦略本部	2	(1)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	0	0
危機管理本部	3	(0)	1	(0)	1	(0)	1	(0)	0	(0)	0	0	0
川崎区役所	17	(10)	15	(10)	15	(10)	15	(10)	0	(0)	2	1	1
幸区役所	12	(9)	10	(7)	6	(4)	8	(5)	2	(2)	2	2	0
中原区役所	8	(7)	8	(7)	8	(7)	8	(7)	0	(0)	2	2	0
高津区役所	9	(7)	8	(6)	5	(4)	7	(5)	1	(1)	4	4	0
宮前区役所	8	(7)	7	(6)	5	(5)	6	(5)	0	(0)	2	2	0
多摩区役所	11	(7)	8	(5)	6	(4)	5	(3)	2	(1)	1	1	0
麻生区役所	10	(7)	2	(2)	2	(2)	1	(1)	0	(0)	0	0	0
上下水道局	23	(2)	13	(1)	7	(1)	6	(0)	6	(0)	0	0	0
交通局	7	(2)	2	(0)	2	(0)	1	(0)	0	(0)	0	0	0
病院局	8	(3)	5	(2)	3	(2)	3	(2)	2	(0)	2	1	1
消防局	100	(0)	100	(0)	97	(0)	97	(0)	3	(0)	0	0	0
教育委員会事務局	218	(213)	214	(209)	203	(199)	207	(203)	6	(6)	9	4	5
計	1,066	(833)	853	(678)	779	(643)	455	(320)	53	(20)	275	233	42

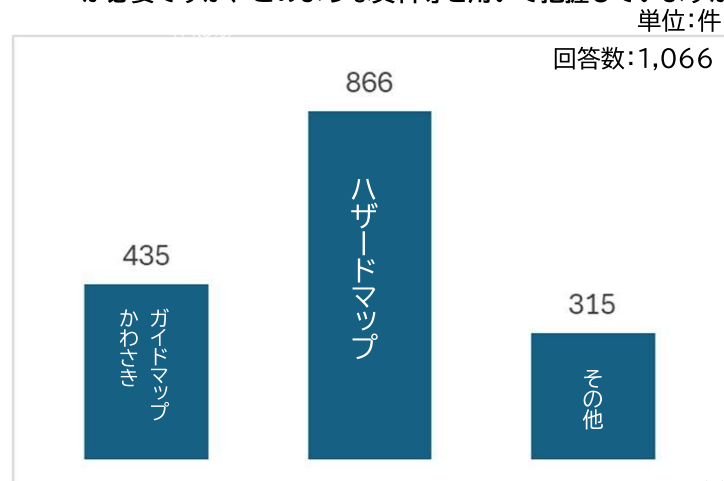
※市民利用施設とは、市民、施設利用者等が日常的に訪れる施設のことをいいます。

※施設を所管していない市民オンブズマン事務局、選挙管理委員会事務局、監査事務局、人事委員会事務局、議会事務局は除いています。

4 公共建築物における浸水対策に関する調査

集計データ抜粋

【問2】事前に浸水対策を検討するためには、周辺の地理情報等を把握していくことが必要ですが、どのような資料等を用いて把握していますか（複数回答可）。

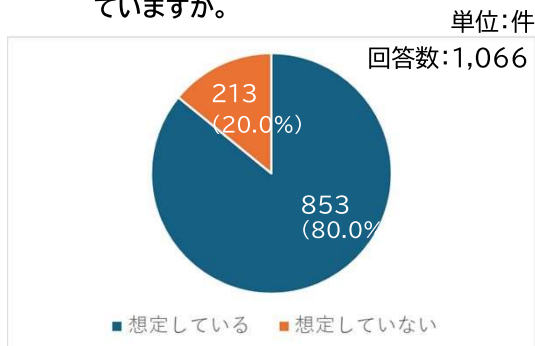


※把握する方法を知らなかった6件

○その他の主な記載（自由記載）

- ・河川監視カメラ
- ・水位情報
- ・インターネットの情報
- ・総合防災情報システム
- ・地図情報システム
- ・川崎港便覧
- ・浸水対策マニュアル

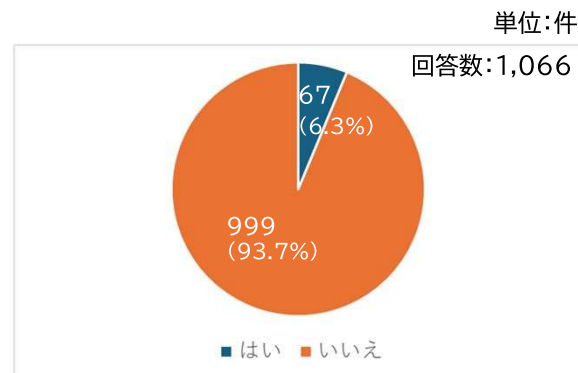
【問3】当該施設について、浸水被害が及んだ場合、どの程度の被害を受けると想定していますか。



➤ 想定している被害の内訳(複数回答)

地上階	地下	地下駐車場	電気室	機械室	エレベーター エスカレーター
617件	58件	21件	201件	205件	178件

【問4】過去5年以内に今回の大雨も含めて、浸水等の被害がありましたか。

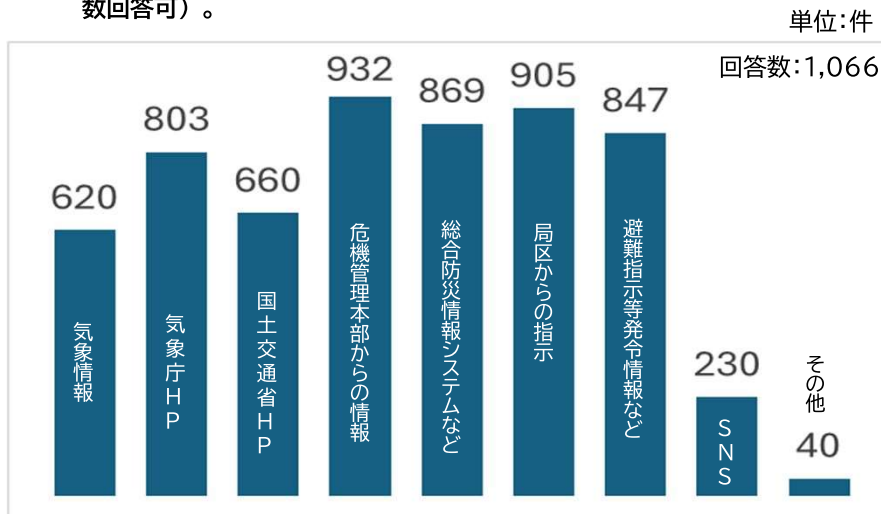


○被害の主な内容（自由記載）

- ・建物への浸水被害（28件）
- ・雨漏りや庁舎破損（26件）
- ・トイレの逆流、排水口等の漏水（6件）
- ・駐車場冠水（4件）
- ・周辺道路の冠水などその他（6件）

※1の施設で複数にまたがる回答があります。

【問5】浸水対策を実行するかを検討する際、参考としている情報源は何ですか（複数回答可）。



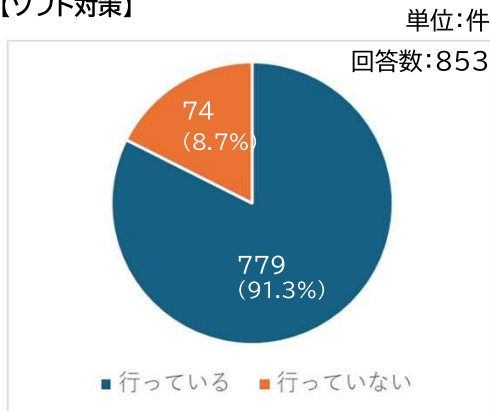
○その他の主な記載

- ・パトロール等
- ・所管課等からの連絡情報
- ・神奈川県雨量水位情報
- ・インターネットの情報

4 公共建築物における浸水対策に関する調査

【問6】当該施設の浸水対策を計画又は実施していますか。

【ソフト対策】



※問3で浸水被害を想定していると回答した施設を対象に集計しました。

○主な対策内容（自由記載）

- ・マニュアル、計画の整備（671件）
- ・ハード対策を運用するため等の連絡体制整備（98件）
- ・土のう設置訓練、保育園における避難確保計画防災マニュアルに基づく避難訓練等の訓練の実施（30件）
- ・その他（26件）

※1の施設で複数にまたがる回答があります。

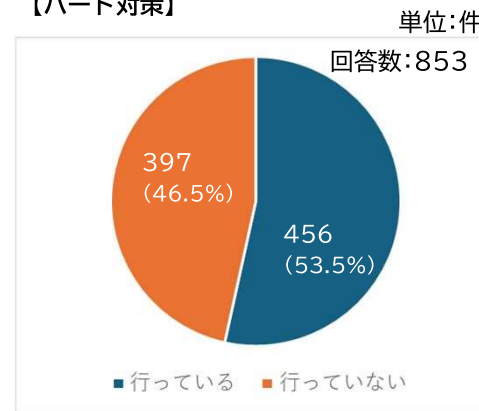
○浸水想定がある施設において、ソフト対策を行っていない主な理由（自由記載）

- ・過去に浸水した事例がない、区分所有、借受で高層階にあるなど、浸水被害リスクが低いと考えているため（26件）
- ・施設として利用していない、解体予定などから、対策を講ずる優先順位が低いため（20件）
- ・借受ビルであることから、民間管理会社が行っている対策に準じているなど（8件）
- ・マニュアルの整備などの対策を検討中のため（7件）
- ・倉庫として利用している、浸水対策を考えてこなかったなど、その他の理由（14件）

※1の施設で複数にまたがる回答があります。

【問6】当該施設の浸水対策を計画又は実施していますか。

【ハード対策】



※問3で浸水被害を想定していると回答した施設を対象に集計しました。

○主な対策内容（選択式）

- ・土のう・水のうの配置（217件）
- ・止水板の設置（37件）
- ・水中ポンプ（26件）
- ・下水逆流防止対策（3件）
- ・その他（239件）

※その他のうち、学校については、ハード対策の実施状況を教育委員会事務局で調査中です。

※1の施設で複数にまたがる回答があります。

○浸水想定がある施設において、ハード対策を行っていない主な理由（自由記載）

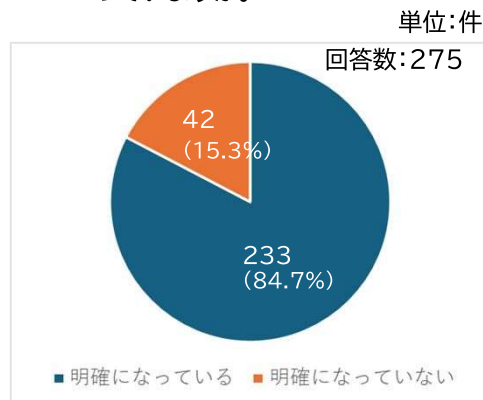
- ・今後、対策を検討していくため（159件）
- ・浸水時については、上階への垂直避難を想定しているため（113件）
- ・過去に浸水した事例がない、区分所有、借受で高層階にあるなど、浸水被害リスクが低いと考えているため（66件）
- ・施設としての利用はしていない、解体予定などから、対策を講ずる優先順位が低いため（22件）
- ・借受ビルであることから、民間管理会社が行っている対策に準じているなど（17件）
- ・予算確保が必要なため（10件）
- ・公衆便所などは代替施設があるため（8件）
- ・今回の調査までに浸水被害を想定できていなかったためなど（5件）
- ・倉庫として利用している、河川区域内のため撤去での対応などその他の理由（6件）

※1の施設で複数にまたがる回答があります。

4 公共建築物における浸水対策に関する調査

【問7】（当該施設が指定管理者制度を導入、補助金等で管理を民間に委ねているなどの場合に回答）

浸水時において市と指定管理者等との施設管理に関する役割分担は明確になっていますか。



※問3で浸水被害を想定していると回答した施設を対象に集計しました。

（役割分担が明確となっている理由）

- ・ 協定、マニュアル、計画、仕様書などで役割分担を記載

○補足

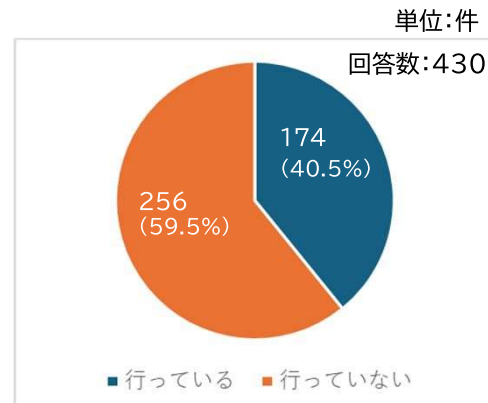
本市では「事業者選定等に関する手引き」において、災害時の役割分担及び市への協力に関する事項について、地域防災計画等における役割や施設の特性等を踏まえ、必要に応じて協定書へ反映することとしています。

今回の調査で「市と指定管理者との役割分担が明確になっていない」と回答した施設について、所管局を通じて再度調査したところ、協定書に災害対応についての取り決めがあるものの、浸水被害のおそれがある場合の具体的な対応まで定まっていないことから、「明確になっていない」と回答となっています。

今回の調査を踏まえ、明確となっていない局区に対しては、明確となっている事例を共有していくなど、各局区での浸水対策を推進していく必要があります。

【問8】（当該施設にエレベーター又はエスカレーターがある場合に回答）

エレベーター、エスカレーター管理会社又は製造会社に問い合わせるなどして、浸水に備えた運転停止や運転方法などについて、相談・確認等を行っていますか。



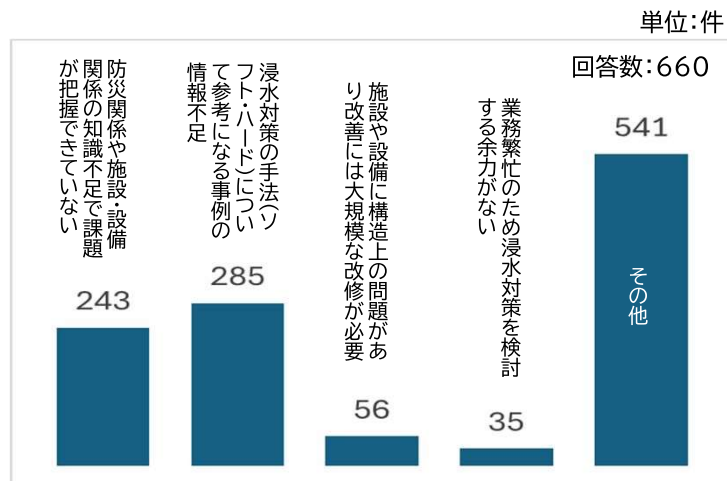
※問3で浸水被害を想定していると回答した施設を対象に集計しました。

（現在の対応）

- ・ 運転方法などの確認をしていない各局（本部）室区に対し、必要な確認をするよう依頼をしています。

4 公共建築物における浸水対策に関する調査

【問9】当該施設の浸水対策を改善するために、課題となっていることはありますか。
また、その他に課題があれば記載してください（複数回答可）。



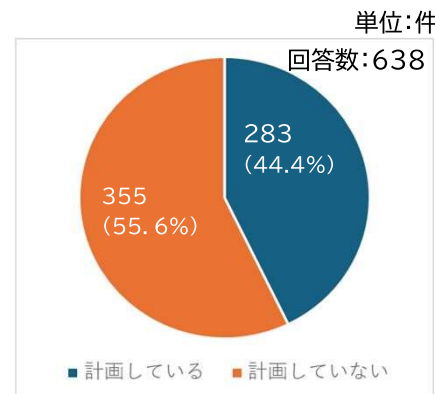
※問3で浸水被害を想定していると回答した施設を対象に集計しました。

○その他の主な記載（自由記載）

- ・ハード面の対策を講ずるには多額の費用が掛かり実現が難しいため（297件）
- ・課題の詳細について各学校等に確認中（教育委員会事務局）（189件）
- ・施設の性質上、所管課側のソフト対策については限界がある（114件）
- ・所管する施設数が多く、降雨時に止水対策に割ける人員が限られる（20件）
- ・区分所有・借受のため、対策が制限される（13件）
- ・水害対策について、共通する対策手法が確立されていない（11件）
- ・大雨時にトイレから下水道の逆流が生じるなどしているが、施設単体の改修では対応が難しい（10件）

※1の施設で複数にまたがる回答があります。

【問10】（問9において課題となっていることがある場合に回答）
当該施設において、今後の改善策は計画していますか。



※問3で浸水被害を想定していると回答した施設を対象に集計しました。

■ 計画していると回答した施設の回答内容

○当面の対策の主な記載（自由記載）

- ・対策内容を検討中（197件）
- ・土のう、止水板等の調達による対策（22件）
- ・マニュアル等のソフト対策の検討（15件）
- ・補修、修繕、工事等による対策（12件）
- ・委託の検討（11件）

○中長期的な対策の主な記載（自由記載）

- ・設備等の浸水対策の検討（教育委員会事務局）（189件）
- ・大規模改修、軽易工事等（20件）
- ・止水対策の運用の自動化等（11件）
- ・止水板の設置等（5件）
- ・他の事例を参考に検討など（6件）
- ・マニュアルの整備、改訂の検討（4件）

※1の施設で複数にまたがる回答があります。

■ 改善策を計画していない主な理由（自由記載）

- ・過去に浸水被害を受けていないが、今回の調査を受け、土のう、止水板等の必要数の調査、予算の確保などの実施の有無も含め、検討段階にあるため（167件）
- ・施設単体での改修は難しい、予算の確保など、所管課での対応に限界を感じているため（132件）
- ・過去に被害が無いことから、まだ対策を検討していないため（11件）
- ・止水板による対応など、既存の対策での対応を考えている（11件）
- ・低未利用、解体予定、区分所有・借受のため（9件）

※1の施設で複数にまたがる回答があります。

5 今後の対応について

1 調査結果（総括）

今回実施した公共建築物における浸水対策に関するアンケート調査において、次のような結果が把握されました。

- 各局(本部)室区が浸水対策を実施するにあたっては、複数の情報を活用して判断しており、特に、危機管理本部発出の情報が932件で最も多く、次いで局区(危機管理担当部署)からの指示905件、総合防災情報システムの情報などが869件となっています。

各施設が浸水対策の実施判断するための情報源



危機管理本部発出
の情報（932件）

局区からの指示
（905件）

総合防災情報システム等
（869件）

- 浸水を想定している施設のうち、非常時のマニュアルや連絡体制の整備などのソフト対策や、土のうや止水板の配置などのハード対策をともに実施していない施設が53件あり、そのうち20件が市民利用施設でした。
- 対策が未実施の主な理由としては、民間借上げ施設である、低未利用や撤去予定の施設である、過去に被害に遭っていないからなどとなっています。
- 指定管理者等との役割分担については、マニュアルや仕様書などで浸水対策の具体的な対応まで定まっていない施設は42件(約15%)でした。

- 浸水対策を講じていく上での課題として、防災や設備に関する知識不足、参考となる情報の不足や、施設等の改修を含めた検討が必要になるなどの回答が多くあり、また、所管する施設数と対応人員との兼ね合いから、局地的かつ短時間での猛烈な降雨の対応には、これまでの対応策では難しい部分もあるとの回答がありました。

各施設が浸水対策を講じていく上での課題と考えている事項



防災・設備に関する
知識不足など



施設改修を含めた
検討が必要



施設数と人員の兼ね合いから
これまでの対応では難しい

5 今後の対応について

2 今後の対応方針

今回実施した、公共建築物等における浸水対策に関する調査の結果や、本年9月11日に本市で発生した記録的大雨において、浸水被害等が発生した状況などからも、喫緊の課題として、「川崎市地域防災計画」や「かわさき強靱化計画」、各局区で進める防災施策と連動しながら、取り組んでいく必要があります。

取組を進めるにあたっては、次の出水期を一つの目途として対応を図るソフト対策を基本とした短期的な対策と、公共建築物等の浸水対策などハード対策等が必要な中長期的な対策に区分して対応を図っていきます。

(1) 多様な災害に対応する公共施設等における浸水対策の強化

公共建築物の調査結果の状況から、災害時における迅速かつ円滑な応急対応及び必要な行政サービスの継続的な提供を図るため、災害時における施設の機能や業務の継続性等の観点から、対応方法等を検討するとともに、計画的に庁舎等の更なる耐災害性の向上に取り組みます。

また、限られた人員による災害対応が求められる中では、総合防災情報システムをはじめとした各種情報ツールを更に活用し、災害現場の情報収集、情報の管理・共有、情報発信に至るまで迅速に行うことで、市の初動対応力の強化を図ります。

●改善策1 浸水対策実施マニュアル等の整備【短期】

被害が想定されるような状況となった場合に、迅速かつ的確な対応を図るためには、関係者等との連携等を密にするとともに、誰でも対応が図れるようにすることが重要となることから、公共建築物等の管理においては、ハザードマップ等を確認の上、水害による被害のリスクや影響を把握するとともに、各施設の特性に応じた「浸水対策実施マニュアル」等を既に作成しているなどの好事例を横展開し、各施設ごとにおけるマニュアル等の整備を進めます。

●改善策2 ハード的対策が必要な施設における軽減策の検討

【短期～中長期】

過去の実災害における被害報告や訓練等の活動内容等を蓄積し、各局区へフィードバックすることで、災害対応における改善点の検討や事前対策の実施、災害発生時のノウハウとして活用するなど、施設の状況に応じた水害対策を図るとともに、ソフト的な対応による改善策を検討し、災害被害の軽減に向けた対応を実施します。

●改善策3 総合防災情報システム等の更なる活用

【短期～中長期】

被害状況や災害関連情報を迅速に集約し、災害応急対策の円滑な実施と、地域住民に対する正確な情報提供を行うためには、職員一人ひとりが総合防災情報システムの使用をはじめ、情報ツールを活用できるようになることが必要となるため、各局区への操作や運用、気象予報などの情報ツール等を活用した情報把握に関する研修を実施するとともに、把握した情報を、よりタイムロスなく共有できる体制を構築します。

●改善策4 多様な手段による被害情報等の把握【短期～中長期】

事前の予測が困難な短時間での集中豪雨などの発生時には、市民通報やSNS、報道など一般的かつ断片的な情報などによる被害情報であっても、危機管理本部が主体的に被害の確認や全体像を把握する対応を図るなど、警戒体制の強化に取り組みます。

5 今後の対応について

(2) 自助・共助による浸水対策の推進

大雨による浸水被害を最小限にとどめるためには、市民一人ひとりの防災意識の高揚と、地域住民の自主的かつ効果的な防災活動、さらに行政との連携を併せて行うことが必要となります。

市民一人ひとり、家族、企業それぞれが自分自身の生命、身体及び財産を守るという自助の理念を基に、地域（共助）と連携して対応を図れる支援に取り組みます。

●改善策1 災害情報を確実に伝える取組【短期】

近年では、気候変動に伴う事前の予測が困難な事象も増加していることを踏まえ、大雨等の情報などを市公式HP、アプリ、防災行政無線、防災ラジオ、SNSなど、それぞれの情報伝達手段の特性に応じて幅広く市民に情報提供を行うとともに、いつでも必要な防災情報が入手できる「川崎市防災ポータルサイト」や「防災アプリ」、「ガイドマップかわさき」など情報発信ツールの普及に取り組みます。



①防災ポータルサイト

- ・外国語翻訳/音声読み上げ(日、英、中(簡・繁)、韓/朝)
- ・避難情報等発令(地図/文字)
- ・避難所(開設/混雑状況)
- ・帰宅困難者一時滞在施設(開設/混雑状況)
- ・ライフライン情報
- ・防災行政無線放送内容
- ・防災啓発コンテンツ

ほか



②防災アプリ

- ・外国語翻訳/音声読み上げ(日、英、中(簡・繁)、韓/朝)
- ・避難情報等発令(地図/文字)
- ・避難所(開設/混雑状況)
- ・帰宅困難者一時滞在施設(開設/混雑状況)
- ・ライフライン情報
- ・防災行政無線放送内容
- ・緊急情報push通知
- ・各種ハザードマップ
- ・防災啓発コンテンツ

ほか



③ガイドマップかわさき

避難所開設情報について総合防災情報システムとガイドマップかわさきとの間で連携する機能

●改善策2 浸水対策、避難行動の啓発【短期】

避難行動の周知にあたっては、ハザードマップにより、自身の住まいの地域等の浸水の危険性などをあらかじめ確認するとともに、マイタイムラインを作成し、発災時の状況に応じた浸水対策の実施や適切な避難行動につなげていくことが大切となりますので、地域で行われる訓練やぼうさい出前講座などの機会を通して浸水対策に関する意識啓発を実施します。

●改善策3 浸水対策への支援【短期～中長期】

個人や自主防災組織などでの浸水対策として、現在、設置されている土のうステーションの運用や置き場の拡充などの検討を進めます。

また、止水板やポリマー土のう、雨水貯留タンク等による各家庭などで実施できる浸水対策に関する事例等を紹介するとともに、必要な支援策の検討を進めるなど、各局区の施策等と連動した浸水対策支援を実施します。



土のうステーションの活用など
自助や共助での浸水対策例



土のう



止水板



止水板



雨水貯留タンク

参考：市総合防災情報システムについて　－概要－

本市の総合防災情報システムは、災害対策本部(危機管理本部)で運用する災害情報を、

収集

管理・共有

発信する情報管理システムです。

気象情報などを平時から自動的に収集し、災害対応時には当該災害の専用データベースを設定することとしており、全庁(局区等)による被害報告や各局区の活動状況を収集、共有の上、市民に必要な情報を発信します。

【災害時における情報収集から発信までの流れ】

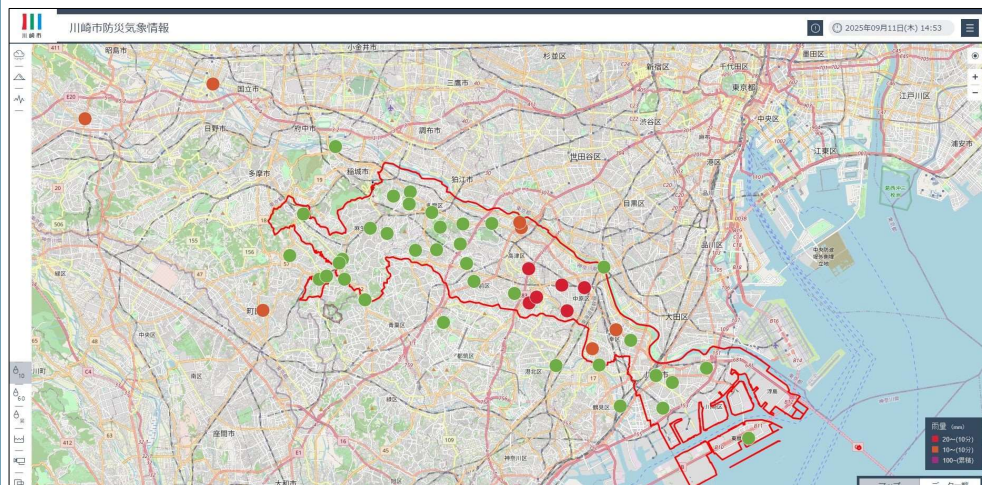


参考：川崎市防災気象情報(webサイト)について ―概要―

川崎市防災気象情報Webサイトは、川崎市内及び川崎市を流れる河川の流域などに設置した雨量・水位計の定点観測情報を収集し、主に風水害発生時における市内の状況を確認することができるWebサイトです。

また、河川の合流地点や、水門、排水樋管などに設置されたカメラの画像や、雨雲レーダー(1時間先までの予測を含む)、土砂災害危険度情報等も確認することができ、風水害発生時の市内の状況把握に役立つ情報サイトです。

川崎市防災気象情報Webサイト (TOP画面)



通常は、市の全域の地図上に観測地点(図は雨量観測点)を緑色で表示しており、一定の雨量を超えた際には、赤・オレンジ・紫色に変更され、強雨のエリアを視覚的に確認することができる。

また、河川の水位も同様に、各観測地点毎に定められた既定水位を超えた場合、色を変えて示し、氾濫等の危険が迫っている地点を確認することができる。
(令和7年9月11日14:53時点)



防災気象情報Webサイト

URL : <https://kawasaki.tenki.ne.jp/>

◆主な機能一覧

- ・雨量(10分間、1時間、日)
- ・河川カメラ
- ・土砂災害危険度情報
- ・天気予報
- ・帳票出力機能
- ・グラフ機能
- ・地震
- ・観測地点詳細
- ・水位(10分毎、1時間毎)
- ・雨雲レーダー

◆河川カメラ

河川、水門、排水樋管等の実況を静止画で確認することができる。



◆帳票出力機能

水位や雨量は、CSVファイルでダウンロードでき、データ分析や統計に活用できる。

※パソコン同様にスマートフォンでも情報を確認できる。

参考：公共建築物における浸水対策に関する調査（設問）

問1 当該施設は、市民(児童・生徒、施設利用者含む)が日常的に訪れる施設ですか。

☐ はい

☐ いいえ

問2 事前に浸水対策を検討するためには、周辺の地理情報等を把握していくことが必要ですが、どのような資料等を用いて把握していますか(複数回答可)。

☐ ガイドマップかわさき(防災マップ)

☐ ハザードマップ(洪水、土砂災害、内水、高潮、津波)

☐ その他()

☐ 把握する方法を知らなかった・把握することを考えていなかった

問3 当該施設について、浸水被害が及んだ場合、どの程度の被害を受けると想定していますか。

☐ 被害を想定している ※該当する事項すべてにチェック願います。

被害を受けるのは ☐ 地上階フロア ☐ ○階 ※階数を記載してください。

☐ 地下フロア ☐ 地下駐車場

☐ 電気室 ☐ ○階 ※階数を記載してください。

☐ 機械室 ☐ ○階 ※階数を記載してください。

☐ エレベーター、エスカレーター ☐ その他()

☐ 被害を想定していない ※次に理由を記載してください。()

問4 過去5年以内に今回の大雨も含めて、浸水等の被害がありましたか。

☐ はい ※次に具体的な被害内容を記載してください。()

☐ いいえ

問5 浸水対策を実行するかを検討する際、参考としている情報源は何ですか(複数回答可)。

☐ テレビなどの気象情報 ☐ 気象庁ホームページ(キキクルなど)

☐ 国土交通省ホームページ(川の防災情報など)

☐ 降雨の見立てなど危機管理本部からの情報(危機管理本部発出)

☐ 総合防災情報システム、川崎市防災気象情報など危機管理本部所管のシステム等からの情報

☐ 局からの指示 ☐ 避難指示等発令情報など

☐ X(旧Twitter)などのSNS ☐ その他()

問6 当該施設の浸水対策を計画又は実施していますか。

【ソフト対策】

☐ 行っている ※次に対策内容を記載してください。()

☐ 行っていない ※次にその理由を記載してください。()

【ハード対策】

☐ 行っている ※実施している取組を選択してください(複数回答可)。また、その他に行っている取組があれば記載してください。

☐ 土のう・水のうの配置 ☐ 防水板(止水板)の設置 ☐ 水中ポンプ

☐ 下水逆流防止対策 ☐ その他()

☐ 行っていない ※次にその理由を記載してください。()

問7 (当該施設が指定管理者制度を導入、補助金等で管理を民間に委ねているなどの場合に回答)

浸水時において市と指定管理者等との施設管理に関する役割分担は明確になっていますか。

☐ 明確になっている ※次に理由と内容を記載してください。()

☐ 明確になっていない

問8 (当該施設にエレベーター又はエスカレーターがある場合に回答)

エレベーター、エスカレーター管理会社又は製造会社に問い合わせるなどして、浸水に備えた運転停止や運転方法などについて、相談・確認等を行っていますか。※今回の調査票に記載のないエレベーター、エスカレーター(川崎地下街エスカレーターなど)がありましたら、シートに行を追加して併せて回答してください。

☐ 行っている ※次に内容を記載してください。()

☐ 行っていない ※行っていない場合は、早急な対応をお願いします。

問9 当該施設の浸水対策を改善するために、課題となっていることはありますか。また、その他に課題があれば記載してください(複数回答可)。

☐ 防災関係や施設・設備関係の知識不足で課題が把握できていない

☐ 浸水対策の手法(ソフト・ハード)について参考になる事例の情報不足

☐ 施設や設備に構造上の問題があり改善には大規模な改修が必要

☐ 業務繁忙のため浸水対策を検討する余力がない

☐ その他()

問10 (問9において課題となっていることがある場合に回答)

当該施設において、今後の改善策は計画していますか。

☐ 計画している

☐ 当面の対策 ※次に内容を記載してください。()

☐ 中長期的な対策 ※次に内容を記載してください。()

☐ 計画していない ※次に理由を記載してください。()